

2022年7月27日

岡山大学に留学中の JICA 研修員が倉敷市水島でフィールドワーク

「瀬戸内海で学ぶ、産業と暮らしと環境」を行います

8月7日(日)岡山大学大学院で研修中の JICA 研修員 7カ国(アフガニスタン、ベナン、ブラジル、ケニア、マラウイ、ミャンマー、ネパール) 12名が、倉敷市水島でフィールドワークを行います。

「みずしま滞在型環境学習コンソーシアム」のアレンジにより、同地区での産業・暮らし・環境保護について説明を受けつつ、板敷水門周辺の町歩きや、水島港からのクルーズ船に乗る予定です。

研修員は母国の行政に携わっており、環境保護の現場を実体験することで、帰国後の業務に新たなヒントを得られるものと考えます。また、本プログラムでの体験は親日・知日派の醸成に貢献するものと考えています。ぜひ、取材をご検討ください。

なお、取材いただける場合は、下記問い合わせ先まで事前連絡をお願いします。担当者、在宅勤務中のため、お手数をおかけいたしますが、問い合わせはメールにてお願いいたします。

【概要】

1. 名称：日本理解プログラム(地域振興)『水島フィールドワーク 瀬戸内海で学ぶ、産業と暮らしと環境』
2. 参加者：JICA 研修員 12名程度(予定)(2019年～2022年に来日し、2022年～2025年までの予定で、岡山大学大学院環境生命科学研究科で学んでいる学生です。)
3. 日時：2022年8月7日(日)午前9時30分頃～午後4時頃(以下の<日程案>の通り)
4. 実施場所：岡山県倉敷市<日程案>

時間	内容
9:30	JR 岡山駅からバスにて出発
10:30～11:00	倉敷市呼松〔水島展望台〕 レクチャー：地域開発と公害の歴史について (公財)水島地域環境再生財団(みずしま財団)塩飽敏史氏
11:30～13:00	バス移動 昼食
13:00～14:30	倉敷市呼松〔板敷水門〕〔松江大気測定所〕、倉敷市福田町〔福田民俗資料館〕 まち歩き：水島干拓の歴史をたどる (公財)水島地域環境再生財団(みずしま財団)塩飽敏史氏
14:30～15:00	バス移動
15:00～16:00	水島港から〔水島コンビナートクルーズ〕 体験とレクチャー：海から工業地帯を見学(コンビナート企業のつながりや、世界とのつながりを学ぶ。)
16:00	水島港出発(帰途、JR 岡山駅へ)

以上

【本件に関する問い合わせ・申込み先】

JICA 中国 研修業務課 担当: 吉田
 TEL: 082-421-6310 FAX: 082-420-8082
 E-mail: Yoshida.Eiichi@jica.go.jp

地域から世界へ、世界から地域へ
 元気をつなぐ JICA 中国

JICA 中国ウェブサイト

